

■町民アンケート調査票（案）

趣旨	地域公共交通総合連携計画の見直しにあたり、町民の外出実態、公共交通の利用実態、将来の公共交通のあり方に対する意向等を確認する。
対象者	武豊町在住者 3,000 名（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
配布数 回収数	配布数：3,000 票 回収数：1,500 件（回収率 50%想定 平成 20 年度調査時：50.2%）
実施時期	平成 25 年 10 月頃
主な設問	<p>問 1：回答者属性（性別、年齢、居住地、職業、免許保有状況等）</p> <p>問 2：外出状況実態について （外出頻度、通勤通学・買い物・通院時の交通手段、場所、時間等）</p> <p>問 3：公共交通による移動について（新規） ○日常の移動に対する不便を感じているか ○外出を控えたことがあるか</p> <p>問 4：バス等の利用実態とその満足度について（新規） ○コミュニティバスの利用状況 ○乗合タクシーの認知状況、利用状況 ○事業実施による意識変化（新規） ○サービス水準に対する満足度</p> <p>問 5：武豊町の公共交通（バス）事業に対する評価について（新規） ○税金負担について（新規） ○今後の税金投入をふまえた対応の方向性（新規） ○コミュニティバスの将来の改善案（新規）</p> <p>問 6：バスを利用しない人の理由等（新規） ○居住地近くでの停留所の有無 ○バス等を利用しない理由 ○事業改善後の利用意向と利用する利用条件</p> <p>問 7：将来の公共交通への転換見通し（新規） ○その他自由意見</p>

公共交通に関する町民アンケートご協力のお願い

武豊町役場 総務部企画政策課

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

日頃は武豊町の町政運営につきまして、深いご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

武豊町では、町民の皆様の生活の足として、コミュニティバスを平成22年7月から、事前予約制バス（タクシー）を平成23年9月から運行を開始しました。

コミュニティバスは、運行開始後約3年経過し、全体の利用者数はこれまで増加傾向で推移していますが、4つのルート毎の利用者数の推移には差があり、また、一部利用者の少ないバス停留所が存在するなど、見直しを行う必要があると考えています。

そこで、町民の皆様を対象に、外出状況やコミュニティバス等の利用状況を調査し、今後の見直しに向けた検討のための基礎資料として参考にさせていただきたいと考えております。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、アンケートについてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

また、アンケート票の取りまとめ作業は、下記業者に委託しておりますが、調査結果は統計的に処理するものであり、本調査の目的以外には使用しません。

趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

調査対象	町内に在住されている方から、年齢階層毎に無作為に抽出した約3,000名を対象としています。
お問合せ先	武豊町 総務部 企画政策課 担当：池田・榊原 TEL 0569-72-1111
入力・集計	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 名古屋 研究開発部 担当：筒井 TEL 052-307-0938

○送付致しましたアンケートについて、ご本人様によるご回答が難しい場合などは、ご家族の方が代筆していただいても構いません。

○アンケートは全部で●ページです。最後までお答え下さいますよう、お願いいたします。

○同封しました返信用封筒に入れて、●月●日（●）までに投函してください。切手は不要です。

武豊町における公共交通への財政投入状況

武豊町では、平成25年度地域公共交通に係る事業の予算として約2,282万円を計上しています。

1世帯当たり（H25.4.1 現在 16,892 世帯）年間約1,350円の負担により維持していることとなります。

参考として、広報たけとよ（2013.4.1）で配布・掲載しました「平成25年度 予算と施策」を添付しています。

「安全に暮らせるまち」とするために、地域公共交通以外にも、

- ・防犯灯・街路灯整備事業には833万円
- ・同報無線整備事業には1,483万円

などの事業費の投入を予定しています。

こうした事業費を参考に、ご回答ください。

●各会計の本年度および前年度予算額

会計名	予算額(対前年増減率%)	前年度予算額
一般会計	125億1,300万円(△2.1)	127億7,500万円
特別会計	79億4,307万9千円(2.5)	77億4,659万9千円
国民健康保険事業	39億5,475万円(1.9)	38億8,246万2千円
後期高齢者医療	3億6,519万3千円(5.5)	3億4,604万5千円
介護保険事業	22億1,237万4千円(1.3)	21億8,426万6千円
農業集落排水事業	6,415万7千円(5.1)	6,104万2千円
下水道事業	13億4,660万5千円(5.8)	12億7,278万4千円
水道事業会計	11億2,047万円(9.0)	10億2,814万円
合計	215億7,654万9千円(0.1)	215億4,973万9千円



◀平成25年度に整備工事が本格化する(仮称)地域交流施設整備地

▶問合せ 総務課

住民の幸福度UPを目指し、「ハード」と「ソフト」の安全・安心のための施策を実施

平成25年度 予算と施策

●武豊町の家計簿

町の一般会計予算を、一般家庭の家計(年収300万円)に例えると、家計簿は次のようになります。

▶収入 (万円)

収入	金額	説明
給与	202	「町税などの自主財源」にあたります
親からの仕送り	60	「地方譲与税、国・県補助金」にあたります
貯金の取り崩し	29	「基金からの繰入金」にあたります
ローン(借金)	9	「町債などの借入金」にあたります
合計	300	

▶支出 (万円)

支出	金額	説明
食費	60	「人件費」にあたります
光熱費、水道代、学費など	59	「物件費」にあたります
家族の医療費など	44	「扶助費」にあたります
自宅の修繕、増改築	38	「建設事業など」にあたります
友人への援助	34	「補助金、貸付金」にあたります
家族への仕送り	46	「繰出金」にあたります
貯金	0	「積立金」にあたります
ローンの返済	19	「公債費」にあたります
合計	300	

▶貯金とローン

貯金額 62万円
借金額(特別会計含む) 374万円

●地方債残高の状況 (千円)

	前年度末 現在高見込額	本年度 起債見込額	本年度 元金償還見込額	本年度末 現在高見込額
一般会計	6,679,098	381,000	724,288	6,335,810
農業集落排水事業	301,387	0	20,021	281,366
下水道事業	9,445,060	121,100	586,174	8,979,986
水道事業	348,231	0	25,753	322,478
合計	16,773,776	502,100	1,356,236	15,919,640

一般会計予算額は
125億1,300万円

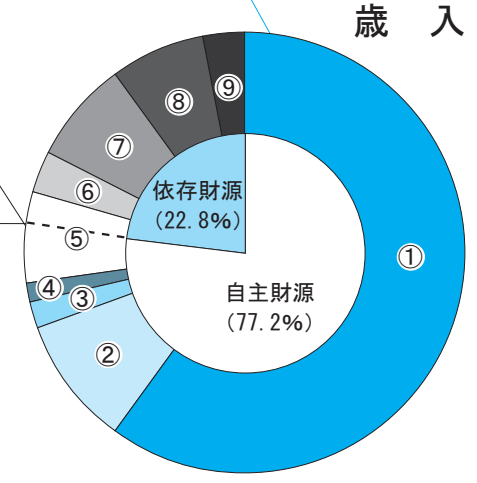
①町税内訳・・・ 7,504,300
町民税 2,835,100
固定資産税 3,707,700
軽自動車税 83,500
町たばこ税 320,000
都市計画税 558,000

⑤その他自主財源・・・ 526,192

財産収入 2,774
寄附金 16,938
繰越金 34,672
諸収入 471,808

⑤その他依存財源・・・ 306,701

地方譲与税 144,000
利子割交付金 11,000
配当割交付金 15,000
株式等譲渡所得割交付金 4,000
ゴルフ場利用税交付金 23,000
自動車取得税交付金 60,001
地方交付税 10,000
地方特例交付金 32,000
交通安全対策特別交付金 7,700



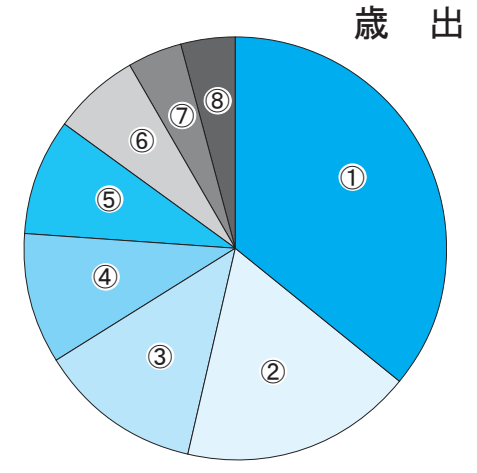
平成24年10月4日に示された予算編成方針に基づいて、人々や地域の温かさ、思いやり、優しさを感じられる、武豊らしい「幸福感」を目指し、昨年提唱した「グロス・たけ」と「ハピネス」を軸とした予算編成になりました。

平成25年度については、学校・保育園以外の「ハードの安全・安心」と「ハードの安全・安心」の両面で、住民生活の幸福度を高める新規施策も盛り込まれております。

具体的な施策については、6〜7ページをご覧ください。

(千円)

①町税	7,504,300 (60.0%)
②繰入金	1,200,001 (9.6%)
③使用料及び手数料	235,781 (1.9%)
④分担金及び負担金	183,118 (1.5%)
⑤その他	832,893 (6.7%)
うち、自主財源	526,192
うち、依存財源	306,701
⑥町債	381,000 (3.0%)
⑦国庫支出金	917,137 (7.3%)
⑧県支出金	892,770 (7.1%)
⑨地方消費税交付金	366,000 (2.9%)



(千円)

①民生費	4,506,373 (36.0%)
②土木費	2,224,635 (17.8%)
③教育費	1,564,359 (12.5%)
④総務費	1,234,585 (9.9%)
⑤衛生費	1,129,413 (9.0%)
⑥公債費	812,881 (6.5%)
⑦消防費	538,886 (4.3%)
⑧その他	501,868 (4.0%)

農林水産業費(211,712)、議会費(152,746)、商工費(86,575)、労働費(35,830)、予備費(15,000)、災害復旧費(3)、諸支出費(2)

■は新規事業または、制度が大きく変更になった事業

ともに創るまち

住民と行政による「協働のまちづくり」を進めるための条件整備に努め、より効果的・効率的かつ持続可能な財政運営の確立を目指します。

■総合計画推進事業 300万円

無作為抽出した住民3千人を対象にアンケートを行い、満足度などの成果指標の達成度を検証します。また、「グロス・たけとよ・ハピネス」についてもアンケートを行います。

■提案型協働事業交付金 100万円

地域の町づくり活動を支援するため、審査を経て、最大20万円(25年度は15万円)の活動資金を交付します。

・広報番組制作放送事業 360万円

役場からの情報発信の手段としてケーブルテレビでの番組放送を継続します。

安全に暮らせるまち

最重要課題である地震・防災対策については、引き続き推進します。また、住民ボランティアの協力を得ながら消防、防災、防犯、交通安全対策を行います。・知多中部広域事務組合費(消防) 4億1,737万円

■中央公民館耐震対策事業 1億5,486万円

中央公民館の耐震補強工事を実施し、併せてエレベータを設置します。



▲昭和51年に開館した中央公民館

■ポンプ場耐震対策事業 4,680万円

臨海部にある上ヶ第1ポンプ場の耐震対策のため補強工事を行います。

・防犯灯・街路灯整備事業 833万円

町民会館北に防犯灯を2基設置します。また、区や商店が設置する防犯灯、街路灯の設置、LED化に対し補助します。

・同報無線整備事業 1,483万円

同報無線の伝達エリアを拡大するため沿岸部に拡声子局を2基設置します。

■自治体配信メールサービス事業 179万円

携帯電話やパソコンを利用して、災害情報、防犯情報、生活情報などを登録した住民へ一斉にメール配信するサービスを開始します。

・地域交通事業 2,282万円

コミュニティバスの運行、バスに接続する乗合タクシー事業を継続します。

ふれあいのあるまち

安心して子どもを生み育てられるまち、子どもが健やかに育つまちを目指して、施設の適切な維持管理、施策の維持に努めます。

・妊産婦・乳児健康診査事業 4,853万円

県内の医療機関などで行う健康診査を妊産婦15回、乳児2回まで概ね無料で受診できます。

・子ども医療事業 2億1,048万円

平成23年1月より通院の助成範囲を拡大し、通院・入院とも中学校卒業まで無料となります。

・児童手当 8億7,655万円

中学校修了前までの児童を対象に支給します。

■保育園臨床心理士巡回事業 120万円

各保育園を臨床心理士が巡回し、発達、子育て、障がい児について相談を受けます。子育て支援センター、あおぞら園も同様の事業を実施します。

・ファミリー・サポート・センター事業 296万円

保育園・児童クラブの送迎、放課後の児童の預かりなど、子育ての相互援助活動を支援します。

・スクールアシスタント事業 2,649万円

児童・生徒の学校生活での実態に合わせた細かな指導ができ、学力向上と



▲築30年以上経過し、劣化が進んでいる富貴小学校

学校生活の充実を図ります。

・小学校施設整備事業 5,465万円

富貴小学校の南館・北東館の外壁補修工事のほか、4小学校のガスの更新工事などを行います。

・中学校施設整備事業 6,123万円

熱中症対策のため、全普通教室に扇風機を設置します(小学校設置済み)。また、富貴中学校のトイレの改修を行います。

いきいきと暮らせるまち

医療・介護の体制を充実し、健康に暮らせる環境づくりを進めます。

・介護保険給付事業 20億5,084万円

居宅介護などの介護保険サービスの利用に対し給付します。

・介護予防事業 3,193万円

高齢者の身近な場所での介護予防の

バスは3年間の試行期間を終え、本格運行へ移行します。

・道路橋りょう維持管理事業 1億5,623万円

町道の舗装の打ち替えや陥没の補修などにより適正な路面維持に努めます。また、橋については、長く使用するための工事の設計に取りかかります。

・道路新設改良事業 1億7,240万円

北中根交差点から武中西交差点までの歩道設置に向けて用地買収を進め、野菜茶業研究所付近については、道路南側に歩道を設置します。そのほか北中根地内などで道路整備を進めます。



▲約200mの歩道が整備される武豊港線

ふれあいのあるまち

人と人との絆を深め、地域コミュニティの醸成に努めます。

■地域交流施設整備事業 4億810万円

ため、憩いのサロンの継続実施のほか、体操サロンを試行します。また、生活機能の低下した高齢者の早期発見、機能維持に努めます。



▲憩いのサロンを継続実施していきます

・予防接種事業 1億3,174万円

ポリオ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌などのワクチン接種を実施します。

・保健事業 3,317万円

胃がん、大腸がんなど各種がん検診、歯周疾患検診、健康相談などを実施します。

自然環境と生活環境が調和したまち

「環境のまち」を標榜できる施策の推進と都市基盤の着実な整備に努めます。

・住宅用太陽光発電設置補助 800万円

1kw当たり2万円を補助します。

転車台周辺の約1.2haの区域に多目的広場、トイレなどのほか、エコステーションを設置します。

・運動公園営繕事業 1,010万円

運動公園内の5面あるテニスコート中2面の人工芝張替えなどを実施します。

・産業まつり補助事業 500万円



▲多くの来場者で賑わう産業まつり。30回目の開催を記念したイベントも実施される予定

・マラソン大会協賛金 250万円

15回目の記念事業を実施する、ゆめたろうスマイルマラソン大会について協賛します。

・町民会館文化振興事業 3,097万円

芸術文化の創造・発表の場、コンサートや演劇などの芸術鑑賞の機会を提供します。町民劇団、スイングバンドなどの文化創造団体の育成を図ります。また、芸術と科学のハーモニーをテーマとした講座などを実施します。

・省資源対策事業 8,956万円

家庭から出るごみのうち、アルミ缶などを資源として回収し、引き続き、排出量の削減に努めていきます。地域での分別収集時間に出せない人のために、武豊高校東のエコステーションを継続実施します。

・常滑武豊衛生組合費(こみ) 3億5,768万円

・中部知多衛生組合費(し尿) 6,430万円

活気に満ち誇りをもてるまち

伝統産業や歴史、文化などの「まちの資源」を効果的に発信し、にぎやかで活気あふれるまちづくりに努めます。

・観光協会補助事業 500万円

観光協会の運営、広報・宣伝事業に対し補助します。

・知多武豊駅東土地区画整理事業 1億4,781万円

名鉄知多武豊駅東の土地区画整理事業を進め、駅周辺の魅力向上に努めます。

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性																				
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上																				
お住まいは？	<table border="0"> <tr> <td>1 北山</td> <td>2 中山</td> <td>3 下門</td> <td>4 馬場</td> </tr> <tr> <td>5 市場</td> <td>6 上ヶ</td> <td>7 小迎</td> <td>8 玉東</td> </tr> <tr> <td>9 玉西1</td> <td>10 玉西2</td> <td>11 原田</td> <td>12 緑</td> </tr> <tr> <td>13 大足</td> <td>14 富貴</td> <td>15 富貴市場</td> <td>16 東大高</td> </tr> <tr> <td>17 市原</td> <td>18 新田</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>地区名が分からない場合 ご自宅の住所の字名を記入 (番地は記入不要です)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 40px; margin-left: 100px;"></div>	1 北山	2 中山	3 下門	4 馬場	5 市場	6 上ヶ	7 小迎	8 玉東	9 玉西1	10 玉西2	11 原田	12 緑	13 大足	14 富貴	15 富貴市場	16 東大高	17 市原	18 新田		
1 北山	2 中山	3 下門	4 馬場																		
5 市場	6 上ヶ	7 小迎	8 玉東																		
9 玉西1	10 玉西2	11 原田	12 緑																		
13 大足	14 富貴	15 富貴市場	16 東大高																		
17 市原	18 新田																				
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 (_____)																				
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない																				
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない																				
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である																				

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

1: 1週間のほぼ毎日	2: 平日はほぼ毎日	3: 週に3～4日	
4: 週に1～2日	5: 1ヶ月に数日	6: 年に数日	7: その他

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)		その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)	
問(1) 「通勤・通学」 の場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問(2)へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 事前予約制バス(乗合タクシー) 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()	➡
問(2) 「買い物や 娯楽」 の場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問(3)へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 事前予約制バス(乗合タクシー) 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()	➡
問(3) 「病院や 福祉施設」を 利用する場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (4頁の問3へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 事前予約制バス(乗合タクシー) 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()	➡

「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所を教えてください		➡	外出の「時間帯」は？	
施設の名前	場所		出発の時間帯	帰宅の時間帯
※：〇〇会社、〇〇高校、等 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()		()	()
1: ピアゴ武豊店 2: ハロ-フーズ 武豊店(タツ21) 3: イハラフード 武豊店 4: アオキス-パ-武豊店 5: イオン半田店 6: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: その他 ()時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()		()	()
1: 石川病院(武豊) 2: 杉石病院(知多武豊) 3: 半田市立半田病院 4: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: その他 ()時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()		()	()

※「施設の名前」について、具体名を記入することに支障がある場合は、「〇〇にある会社」、「〇〇にある病院」等、大まかな場所と目的をお答えください。

問4-2. 武豊町内の「事前予約制バス(乗合タクシー)」についてお伺いします。

(1)あなたは「事前予約制バス(乗合タクシー)」を知っていますか？ (1つに○)

- 1: 利用方法も含めて知っている 2: 利用方法は知らないが、知っている
3: 知らない ・ ・ ・ ・ ・ (問4-3へ)

(2)あなたは事前予約制バス(乗合タクシー)をどの程度利用されますか？ (1つに○)

- 1: 週に3日以上 2: 週に1~2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど又は全く乗らない

問4-3. 平成22年7月から「武豊町コミュニティバス」の運行を開始しました。

(1)コミュニティバスや事前予約制バス(乗合タクシー)の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。
選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。 (すべてに○)

- 1: 新しい交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う
2: 安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う
3: バス交通が無い交通空白地域だった時と比べて、生活の質が「豊かになった」と思う
4: 何も変わらない
5: わからない

(2)コミュニティバスなどの運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。 (1つに○)

- 1: 外出する機会が増えた 2: 何も変わらない
3: わからない 4: その他 (_____)

問4-3.「コミュニティバスや事前予約制バス(乗合タクシー)」のサービス水準は、妥当だと思いますか？

コミュニティバス・事前予約制バス(乗合タクシー)別々に、それぞれの評価する項目について、当てはまるもの一つに○をつけてください。

(それぞれ1つに○)

さらに、特に不満と思う点や改善すべき点等があればその内容をお書きください。

評価する項目	選択肢	コミュニティバス	事前予約制バス (乗合タクシー)
①運行頻度	1: 妥当	1	1
	2: おおむね妥当	2	2
	3: やや不満	3	3
	4: 不満	4	4
	5: わからない	5	5
②ルート	1: 妥当	1	1
	2: おおむね妥当	2	2
	3: やや不満	3	3
	4: 不満	4	4
	5: わからない	5	5
③停留所の位置	1: 妥当	1	1
	2: おおむね妥当	2	2
	3: やや不満	3	3
	4: 不満	4	4
	5: わからない	5	5
④ダイヤの設定	1: 妥当	1	1
	2: おおむね妥当	2	2
	3: やや不満	3	3
	4: 不満	4	4
	5: わからない	5	5
⑤運賃設定	1: 妥当	1	1
	2: おおむね妥当	2	2
	3: やや不満	3	3
	4: 不満	4	4
	5: わからない	5	5

↓

↓

<p>特に不満と思う点や 改善すべき点があれば、 その内容をお書きください。</p>		
--	--	--

問5. 武豊町の公共交通(バス)事業についてお伺いします。

武豊町では、平成 25 年度、コミュニティバスや事前予約制バス(乗合タクシー)の運行経費として約 2,282 万円を予算計上しています。この金額は1世帯当たりでは年間約 1,350 円の負担となります。

参考として、広報たけとよ(2013.4.1)「平成 25 年度 予算と施策」を添付しました。他の施策への事業費(税金投入)状況をご覧いただき、次の質問をご回答ください。

問5-1. 「コミュニティバスや事前予約制バス(乗合タクシー)」を維持するために 1 世帯当たり年間約 1,350 円(月あたり 112 円)程度の負担をしています。この負担額を、どう思いますか？ (1つに○)

1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問5-2. 今後の税金負担と公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)のあり方について、どのように考えるべきですか？ (1つに○)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい(朝・夕便の増便など)
- 3: 今以上の税金投入を行い、西部や南部地区等にも定時定路線のバスを運行してほしい
- 4: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 5: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 6: 現在行われているサービス水準を下げて、コスト削減・税金投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 7: 税金投入を抑制するために、現在行われているサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
- 8: わからない。
- 9: その他 (_____)

問5-3. 「コミュニティバス」は、緑(右廻り・左廻り)・赤・青の4つのルートからなります。2台のバスを投入して概ね同じ運行本数になるように運行していますが、ルートにより利用者数に偏りがあります。

ルート	緑(右廻り)	緑(左廻り)	赤	青
1日の運行本数	6便/日	5便/日	6便/日	5便/日
H24年度の年間利用者数	6,176人/年	4,420人/年	14,839人/年	7,074人/年
1便当たりの乗車人数	2.9人/便	2.5人/便	6.9人/便	3.9人/便

(1)「コミュニティバス」は2台のバスで運行するため、1日で最大 22 便程度までしか運行できません。
 ルート毎の「利用者数の違い」に応じて、4つのルートの「運行本数を変える」対応を行うべきだと思いますか？ (1つに○)

1: 運行本数を変えるべき	2: そのまま維持	3: わからない
---------------	-----------	----------

(2)「コミュニティバス」は、バス停留所毎に利用者数が異なり、一部では極端に利用者の少ないバス停留所が存在します。
 こうしたバス停留所を廃止したり、位置を変えたりするような改善が考えられますが、あなたは、極端に利用者の少ないバス停留所はどうすべきだと思いますか？
 (1つに○)

1: 廃止すべき	2: 位置を変える	3: そのまま維持	4: わからない
----------	-----------	-----------	----------

(3)「事前予約制バス(乗合タクシー)」も、停留所毎に利用者数が異なり、一部では最近全く利用されていない停留所が存在します。
 あなたは、利用者の少ないタクシー停留所を、どうすべきだと思いますか？
 (1つに○)

1: 廃止すべき	2: 位置を変える	3: そのまま維持	4: わからない
----------	-----------	-----------	----------

問6. バス等を「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バス等を利用する人（当てはまらない人）は、次の問7にお進みください。

問6-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------------|-------|------------------|
| 1: ある | | 問6-2を回答ください |
| 2: 自宅の近くに停留所はない | } |問6-3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問6-2. 上記問6-1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「バス等を利用しない理由」をお聞かせください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: 停留所まで遠い | 4: バス等の乗り降りや外出するのが負担 |
| 5: 行きたい場所にバスが通っていない | 6: 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7: 運行本数が少ない | 8: 運賃が高い |
| 9: 目的地まで時間がかかる | 10: 目的地まで遠回りする |
| 11: 時刻表通りに来ない | 12: 目的地への到着が遅れる |
| 13: 始発バスの時間が遅い | 14: 最終バスの時間が早い |
| 15: 帰りに利用できるバスがない | 16: 乗り継ぎが不便 |
| 17: 時刻表やルートがよくわからない | 18: そもそも乗り方がわからない |
| 19: その他（ _____ ） | |

問6-3. 上記問6-1で、2・3を選択した、近くに停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くにバス等が運行されれば、あなたは利用しますか？

（1つに○）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | |
| 3: 利用しない | |
| ※利用しない理由は？ | |
| ア) 自家用車での移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ロ) 徒歩や自転車がある | リ) その他（ _____ ） |

問7. 公共交通の転換見通しについてお伺いします。

問7-1. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。
あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換でき
ると思いますか？ (1つに○)

1: 既に公共交通が中心

2: たまにならできると思う

3: 将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換できると思いますか？

ア) 60～64 歳 イ) 65～69 歳 ウ) 70～74 歳 エ) 75～79 歳

オ) 80～84 歳 カ) 85～89 歳 キ) その他 (歳)

ク) わからない

4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、
平成25年●月●日(●)までに投函してください。